
With コロナの時代の幕開けに備えて考えている事

こんにちは。

新垣覚です。

今回は私の書いた手紙を開いていただきありがとうございます。

あなたにこの手紙を送ったのには、理由があります。

今、コロナが少しだけ落ち着きを見せ（医療従事者への負担が相変わらず大きいですが）10月から全国に出ていた緊急事態宣言が解除される見通しです。

私の住む沖縄においては、緊急事態宣言が4か月に及び社会にも経済にも大きな影響を与えています。

うちの中学生の長男においては学校行事もまったく開催されていない状況ですし、懇意にしていたレストランや居酒屋さんで廃業した人もいます。

そんな緊急事態宣言が解除される事でハッキリ言えること。それは経済が「いきなり動き出す」という事です。

実はこの事はチャンスでもあるのですが、この状況に対応するために準備をしていたり、用意が終わっていないとこの大波にいきなり飲み込まれて何もできなくなる危険性があります。

その鍵を握るのが10月の過ごし方です。この1か月をどのように活用するか？でその後の結果が大きく変わります。

さて、この手書きを開いてくれたという事は、あなたはきっと心のどこ

かでこんな思いがあるのではないのでしょうか？

- ・ これからのビジネスに対応できる自信が無い
 - ・ このまま自己流でビジネスをする事に不安がある
 - ・ お金が全然、残らない
 - ・ お客様がどんどん減っているが打ち手がない
 - ・ ビジネスが上手くいかず家族にイライラをぶつけてしまっている
 - ・ 今よりもビジネスを楽に進めたい
-
-
-

いかがでしょうか？

自分の思い描いた理想にいつまでも近づかない焦りで、そのイライラを自己嫌悪につなげていませんか？

包み隠さずに言えば私自身、起業してからしばらくはずっとそんな思いで経営をしていました。

どんなに不安になったとしても、それを相談できる人もいません。

なんとか自分で状況を打開しようと、インターネットで集客の方法を調べたり、いろんな本を読んで勉強したり、セミナーや異業種交流会などに参加したりもしました。

それにも関わらず、僕の現状は何も変わることはありませんでした。

その理由は、後にハッキリとわかるのですが もしかしたら、自分の現状を変えきれなかった一番の理由は・・・

「僕が本気で変わる気がなかったから」 です。

実際、当時は本当に悩んでいましたがどこかで見て見ぬふりをしていました。

しかし、そんな私の甘い気持ちに冷水を浴びせるようにこんな事がありました。

これは私のプライベートな事なのでとても恥ずかしいのですが正直に打ち明けます。

事の発端は私の息子とのちょっとした喧嘩でした。

友達の家泊まりたいに行きたいという息子に対して、私は止めました。

「向こうも自分たちの家族だけで過ごしたいはずだからやめたら」と言いましたが息子は

“●●くんも行く” “■■くんも行く”

と私の言うことを受け入れる様子もありません。

言い争いがヒートアップし、息子は半分泣きながらこう言ったのです。

「ウチは周りよりもお金がないんだよね。いつもお金の話ばかり。自分は友達よりも小遣いも少ないし好きなものも買ってもらえない」

息子は感情的に反論しただけだったかもしれませんが私は凶星を指摘された気持ちで一言も返す事ができませんでした。

思い返せば、自分のビジネスが上手くいっていないのにそれを直視せず、ウソの良いお父さんである事を演じ続けてきたからです。

その時、私は本気で変わろうと決心しました。メンターを師匠にお願いをしました。そしてメンターのコミュニティの中でコミットメントをして自分を崖っぷちに追い込みました。

毎日、毎日自分が避けてきた事を強化したり、あれほどイヤだったセールスに取り組みました。1日10件ずつ企業にセールスメールを送っていました。

そして、自分の強みを活かす「仕組み」を作る事とにかく集中しました。

知っているだけ → 行動して自分の血肉にする

という事を意識的に継続していきました。それを動かしていたのは「本気で変わりたい」という私の心からの気持ちでした。

そして気がつけば、全国にクライアント様と御縁が出来たり、今では全く異業種である福祉の分野の事業も手がけられるようになりました。

そんな今、思うことは単に、売上をあげるとか、会社を大きくする事は所詮ただの手段という事です。

語弊を恐れずに言うなら頑張れば誰でもできる事なのです。それよりも

本当に大切なのは、たった一度の人生において「あなたが、本当にやりたい事をやれているかどうか？」だと言えます。

これはつい最近、私がビジネスの目標を大きく変えました。ですからリアルタキムで身にしみて感じている事になります。私はもう50代です。これからの10年をどう過ごすか？どんな仕事をするか？はこれからの人生に大きく影響します。

それを考えた時に、一番大切にしたモノサシが「**本当にやりたいことか？**」という事でした。

また、第6波が必ず日本を襲う日が来ると思いますが先進国がいち早く「with コロナ」の時代に入っている事を見ていると日本も遅ればせながらそのフェイズに入ってきたと思います。

だからこそ「本気で変わりたい」という気持ちを強く持って、これから生き残るための「仕組み」を構築する事が今、必要です。

私自身、with コロナの世界を考えた時に必要になるのは「福祉」だと考えています。

そのためにビジネスとしての布石をいくつか準備しているところです。もちろん私一人でできる事ではないので仲間としっかりと進めています。

実際にすでに福祉のビジネスを始めている友人に頼み、肌で仕事を理解するために、10月から出稽古的な意味をこめて業務を手伝う予定です。

全く異業種ですが、必ずこれからの With コロナの時代のビジネスのヒントが見つかると思います。もちろん「本当にやりたいか？」と自問自答した時「YES」でした。

もちろん、それらの事もメルマガや公式 LINE であなたにも共有しますので楽しみにしていて下さい。

今回、長々と手紙を書きましたがお伝えしたかった事は以下の4つです。

①10月から本格的な With コロナへの動きが日本でも始まる

②「本気で変わりたい」という気持ちがあれば何も変わらない

③ビジネスは先んじて「仕組み」を作る事が超大事

④「本当にやりたいか？」常に自問自答する

最後まで読んでいただきありがとうございました。

一緒にこの With コロナ時代を生きぬきましょう。

人生もビジネスも大切にして悔いのない日々にししましょう！

引き続き宜しくお願い致します。

*何かお困り事があれば遠慮なくメッセージを下さい。すぐに対応致しますので！
